



技術研修事業

教育研修コースのご案内

一般財団法人 VCCI協会

<http://www.vcci.jp/>

連絡先: 〒106-0041 東京都港区麻布台2丁目3番5号 ノアビル7階

TEL(03)5575-3138 FAX(03)5575-3137

担当: 島先/村松

shimasaki@vcci.jp

研修コースの概要



VCCI協会 教育研修専門委員会では、2016年11月にCISPR 32準拠の技術基準(VCCI-CISPR 32)が発行されたのを受けて、2017年度からCISPR 32準拠の技術基準に対応した教育研修コースを下記のごとく計画しております。この教育研修コースは、特に要望の多かったテーマを教育研修専門委員会にて計画、運営を行い、VCCI会員並びに非会員の測定技術者の方々に測定技術の理解向上、測定技術者の後進育成の場としてご活用いただいております。既に、VCCI教育研修コースでは、2,900名を超える方が受講を終了し、測定現場にて役立てていただいております。是非、皆様のご参加をお待ちしております。

位置付け	教育研修コース
専門研修	<p data-bbox="540 664 1632 835">1GHz以下の測定技術者研修「研修会」 ・放射エミッション(EUTの配置及び1GHz以下の測定) ・伝導エミッション(AC電源ポート/通信ネットワークポート(LAN))</p> <p data-bbox="540 842 1445 939">自動／手動測定の利用</p> <p data-bbox="540 949 1445 1046">1GHz超放射エミッション 2018年度 開催予定</p> <p data-bbox="540 1056 1445 1153">測定機器の不確かさ 2018年度 開催予定</p>
基礎研修	<p data-bbox="540 1218 1352 1310">測定技術者研修「基礎コース」</p>

- 目的
- VCCI技術基準に基づいた電磁波測定を行うにあたって、その測定に必須の電磁気的な基礎知識及び、測定結果から問題点を推定するにあたって必要と考えられる電磁気等の基礎知識の習得
 - 専門知識や高度な測定技術を習得可能なVCCI測定技術者研修「研修会」へ進むために必要な知識の習得
- 研修内容
1. 電磁妨害の背景と電磁環境
 2. 電気回路の基礎
 3. 伝送線路の基礎
 4. 電磁波について
 5. 妨害波測定器の基礎
- 日程
- 座学のみ 1日
- ・2017年度 : 年1回(秋)開催
 - ・2018年度以降 : 年2回(春、秋)開催予定
- 募集人員
- 20名/回
- 開催場所
- VCCI協会の会議室 (東京都港区麻布台)

1GHz以下の測定技術者研修「研修会」



目的	<ul style="list-style-type: none">■ MME(マルチメディア機器)の内、ITE(情報技術装置)としての機能が主機能と考えられるMME又はITEとしての機能を含むMMEにおける適合確認試験を実施する際に必要となる測定技術及び、EMCに関係した知識の習得■ 測定設備登録・維持管理に関するVCCI技術基準に基づく必要事項の習得
研修内容	第1, 2日目 (座学) <ul style="list-style-type: none">1. 電磁波の基本的な性質、EMI測定用アンテナの特性2. アンテナの校正と測定サイトの評価3. スペクトラム・アナライザ4. 妨害波測定器5. 放射エミッション測定6. 伝導エミッション測定(RF変調出力ポート、放送受信機チューナーポート含む)
研修内容	第3, 4日目 (実習) <ul style="list-style-type: none">1. 放射エミッション測定 (電波半無響室においてEUTの配置及び1GHz以下の測定)2. 伝導エミッション測定 (AC電源ポート、通信ネットワークポート(LAN))
日程	座学及び実習 合計4日間 <ul style="list-style-type: none">・2017年度 : 年1回(秋)実習は東京、大阪で開催・2018年度以降 : 年2回(春、秋)開催予定
募集人員	12名/回
開催場所	VCCI協会の会議室 (東京都港区麻布台) 及び、JQA(彩都)、KEC(けいはんな)、TELEC(品川)

自動／手動測定の実用コース



目的	<ul style="list-style-type: none">■ 妨害波の測定において正しい測定が出来るための自動測定及び手動測定の設定方法や測定器の取扱等の必要な技術の習得■ CISPR 32準拠の技術基準 付則Cに対応したエミッション測定の手順を参照して、事前測定と正式測定の手順及び、一般的な測定手順(自動測定及び手動測定の手順)を理解し、妨害波の種類において、最大妨害波の測定が出来るようになるための測定プロセスを習得する。
研修内容	<ol style="list-style-type: none">1. 目的と概要2. ノイズ測定と自動測定の基本事項3. 妨害波の種類4. 手動測定の要点5. 自動測定の要点6. 測定器の新機能の活用による測定効率化
日程	座学のみ 1日 ・2017年度以降 :年1回(秋)開催
募集人員	20名/回
開催場所	VCCI協会の会議室 (東京都港区麻布台)

- 目的
- ITEの動作周波数高周波化に対応した、正しい1GHz超放射エミッションが測定できるための技術及び関連知識の習得
 - 正しい1GHz超放射エミッション測定場の評価が出来るための技術の習得
- 研修内容
- 第1日目 (座学)
1. 1GHz超のアンテナの特性と校正
 2. サイト評価方法(SVSWR)
 3. 1GHz超放射エミッション測定方法(1GHz~18GHz)
- 第2日目 (実習)
1. サイト評価方法(SVSWR)
 2. 1GHz超放射エミッション測定方法(~6GHz)
- 日程
- 座学及び実習 合計2日間
- ・2017年度 :開催せず
 - ・2018年度以降 :年2回(春、秋)開催予定
- 募集人員
- 12名/回
- 開催場所
- VCCI協会の会議室 (東京都港区麻布台)
及び、JQA(彩都)、KEC(けいはんな)、TELEC(品川)

目的	■ 技術基準 VCCI-CISPR 32では試験報告書にEMI測定の不確かさを記述する要求事項が追加された。VCCI-CISPR 32に基づく試験報告書に記述する不確かさの見積(推定)を円滑に算出するために必要な基礎及び、具体的な算出事例を交えながらEMI測定の不確かさの理解・習得
研修内容	<ol style="list-style-type: none">1. EMI測定の不確かさの基礎2. 放射エミッション測定の不確かさの算出3. 伝導エミッション測定の不確かさの算出 <p>尚、研修内容は変更の可能性あり</p>
日程	座学のみ 1日 ・2017年度 : 開催せず ・2018年度以降 : 年1回開催予定
募集人員	20名/回
開催場所	VCCI協会の会議室 (東京都港区麻布台)